

熊本大学における地下水環境リーダー育成教育拠点事業の課題と展望 Current program and its related perspectives on Environmental Groundwater Leader Program at Kumamoto University.

嶋田 純^{1*}, 利部 慎¹

Jun Shimada^{1*}, Makoto Kagabu¹

¹ 熊本大学大学院自然科学研究科

¹ Graduate school of Science and Technology

世界の多くの地域において、水資源としての地下水への依存度は急速に増加しています。その結果、地下水システムの包括的な理解に加え、地下水資源の管理、水質の維持、廃水の浄化のための高度な技術が求められています。持続的な地下水の利用を可能とする水環境との共生は、この水の惑星 "地球" に生きる人類が対処しなくてはならない非常に重要な環境問題の一つとなっています。人口 70 万人を擁する熊本市では、上水道、農業用水、産業用水の全てが地下水源から供給されています。多孔質な砥川溶岩と阿蘇山から供給された火砕流堆積物が帯水層として広い範囲に分布し、地下水量の豊富さとその水質の良さから、熊本市は日本一の地下水都市として知られています。地下水の保全のため、既に熊本市は涵養域から流出域までの地下水システム全体を考慮した先進的な地下水資源管理に着手しており、これらの地域特性は熊本大学で地下水環境リーダーを育成する上で大きな利点となります。熊本大学では H22 年度より、この地域特性を生かし持続可能な社会の構築のため、地下水の量と質を良好な状態に維持することで地下水資源を管理できる PhD 学生を育成することを目指した環境リーダー育成事業を展開しています。その内容と展望を紹介したいと思います。

キーワード: 地下水管理, 熊本, 環境リーダー

Keywords: groundwater management, Kumamoto area, Environmental leader